



《報道関係者お問い合わせ先》

特別展「北野天神」広報事務局(株式会社TMオフィス内) 担当:馬場・永井・西坂

TEL: 090-6065-0063 (馬場) 090-5667-3041 (永井)

テレフォンセンター: 050-1807-2919 FAX: 050-1722-9032 E-MAIL: kitanotenjin@tm-office.co.jp

史上初！国宝《北野天神縁起絵巻》全巻全場面公開！

国宝・重要文化財を含む全国の天神信仰ゆかりの品々を一挙公開！

展覧会趣旨

天神様、天神さん、菅公などの名で呼び親しまれる菅原道真は、平安時代を代表する著名な学者・政治家です。その道真を祭神としてまつる北野天満宮では、25年ごとに「半萬燈祭」、50年ごとに「大萬燈祭」という式年大祭を行ってきました。きたる2027年、延喜三年（903）の道真薨去から1125年目となる半萬燈祭が執り行われます。これにあわせて、京都国立博物館では北野天満宮に伝わる国宝・重要文化財17件を中心に、全国の天神信仰ゆかりの品々を一挙に公開する特別展を開催いたします。

本展では、道真と北野天満宮ゆかりの文化財のうち、同社に伝わる古神宝を中心に展観し、これまであまり語られてこなかった天神信仰の多様な側面と、それらが日本の文化史の中で果たしてきた重要な役割を紐解きます。史上初めてとなる北野天満宮所蔵の国宝《北野天神縁起絵巻（承久本）》全巻全場面公開をはじめ、重要文化財に指定されている《北野天神縁起絵巻》の弘安本、光信本、光起本ほかを展示し、天神信仰誕生の場面に迫ります。また、京都国立博物館と北野文化研究所の調査によって新たに見出された作品や、日本各地の天満宮・天神社ゆかりの社寺に伝わる貴重な品々を紹介します。

本展の見どころ

1 国宝・重要文化財を含む全国の天神信仰ゆかりの品々を一挙公開！

道真の遺品と伝わる国宝《菅公遺品》（大阪・道明寺天満宮）のほか、さまざまな姿の天神像、天神の功德を示す文芸や芸能、武芸関係の品々など約140件の作品を紹介します。

2 史上初！国宝《北野天神縁起絵巻》の全巻全場面を公開します！

9巻、合計80メートルを超える全巻全場面を、会期中巻き替えながら展示します。

国宝《北野天神縁起絵巻（承久本）》展示予定詳細

	4/18 ～ 4/26	4/28 ～ 5/4	5/5 ～ 5/10	5/12 ～ 5/17	5/19 ～ 5/24	5/26 ～ 5/31	6/2 ～ 6/7	6/9 ～ 6/14
卷第1	第1段、第2段				第3段			
卷第2	第1段、第2段				第3段、第4段			
卷第3	第1段				第2段			
卷第4	第1段				第3段、第4段			
卷第5	第2段				第3段	第4段	第5段	
卷第6	第1段、第2段				第3段、第4段			
卷第7	前半		後半					
卷第8					前半		後半	
卷第9	前半				後半			

萬燈祭とは

萬燈祭とは、御祭神菅原道真公が薨去されて以降、50年、25年毎に斎行されてきた北野天満宮の式年大祭です。「萬燈祭」と称するのは、萬（万）の燈を灯して、御祭神を慰靈する意であり、50年毎の大祭を「大萬燈祭」25年毎の大祭を「半萬燈祭」と称して、御祭神の御心をお慰め申し上げるとともに、さまざまな神賑行事を執り行い、天神信仰を未来へ繋ぐ重要な大祭として継承されてきました。

またこの式年大祭に合わせて、社殿の大規模な修造ならびに境内維持整備を行い、平安時代より受け継いできた北野の信仰・歴史・文化・伝統を次世代に受け継いで行きます。（北野天満宮HPより）

第1章 天神信仰

道真が愛用したと伝わる品々



国宝 伝菅公遺品 大阪・道明寺天満宮蔵
[通期展示、写真の〈玳瑁装牙櫛・銀装革帯〉は5月12日～6月14日展示]

神となつた道真、現存最古級の天神像



束帶天神像（根本御影）
京都・北野天満宮蔵 [5月5日～6月14日展示]

失意の中、延喜三年（903）に薨去した菅原道真は、半世紀後の天暦元年（947）に北野の地に祀られます。当初は怨霊でしたが、しだいに善神としての性格を帯び、永延元年（987）に一条天皇より「北野天満大自在天神」の神号を贈られました。この章では人間・道真が天神となる足跡、そして神仏習合により長谷寺や天台宗と関わりを持ち、十一面観音信仰と深く結びついていく様子をご紹介します。



十一面観音立像 京都・曼殊院蔵 [通期展示]

かつて北野社にまつられた十一面観音

菅原道真と北野天満宮

菅原道真は承和十二年（845）、文書博士・菅原是善の三男として生まれました。長じては宇多天皇の信任を得、父と同じく文書博士を経て蔵人頭や参議、式部大輔の役に就いて天皇の側近としてその政治手腕を発揮しました。寛平六年（894）の遣唐大使に任命された際は、唐の政情不安を踏まえて遣使の再検討を建議するなど、国政の重要な局面で存在感を示したことでも有名です。醍醐天皇の世となって右大臣に昇進した道真ですが、讒言により大宰員外帥として九州へと左遷され、大宰府で没しました。

道真の死後、京では相次いで凶事が起り、これらは無念の死を遂げた道真の祟りによるものとされたため、天暦元年（947）に村上天皇の勅命により、京都の北西（天門）に位置する北野の地に彼の怨霊を鎮める社が創建されました。のちに一条天皇より「天満大自在天神」の神号と太政大臣の位を追賜され、善神の性格を強めたことで、京都では今日でも「北野の天神さん」として地域の人々に親しまれています。

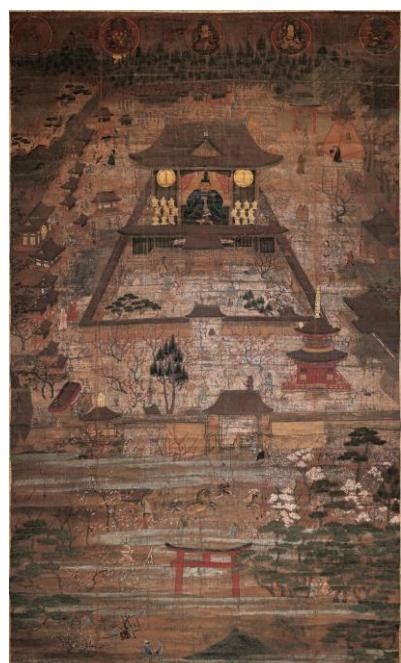
第2章 北野天満宮の歴史

菅原道真が北野の地に神としてまつられるまでの草創の由来と、その靈験説話をまとめた絵巻物が「北野天神縁起絵巻」です。この章では、北野天満宮に伝來した国宝《北野天神縁起絵巻（承久本）》をはじめ、国宝・重要文化財に指定されている「北野天神縁起絵巻」の多くが一堂に会します。また、長い歴史を誇る同宮は幅広い階層の人々から篤い崇敬を集め繁栄し、幾たびもの社殿の造営や寄進を受けてきました。これら京都の地域社会との結びつきを、北野天満宮に伝來する古記録からたどります。

北野天神縁起絵巻の中で現存最古、かつ最大の国宝絵巻



国宝 北野天神縁起絵巻（承久本）卷第1（部分）
京都・北野天満宮蔵 [通期展示、写真の場面は前期展示]



北野宮曼荼羅図
京都・北野天満宮蔵 [前期展示]

国宝《北野天神縁起絵巻（承久本）》とは

平安時代を代表する政治家・学者の1人である菅原道真の生涯と、彼が死後、神としてまつられる様子をつづった絵巻です。「北野天神縁起絵巻」は古来、数多く作られましたが、本文に承久元年（1219）の年号をもつ通称「承久本」は、最古かつ最優品です。大きさはおよそ縦52センチメートル。現存する日本の絵巻として最大の画面高を誇り、ダイナミックで躍動感あふれる人物や風景の表現とあわせて、鎌倉時代を代表する絵巻の1つとして長らく称えられてきました。また、承久本は一部が下絵のまま残されており、壮大ながら未完であるという、謎めいた制作事情も魅力の一部となっています。



国宝 北野天神縁起絵巻（承久本）
卷第5（部分） 京都・北野天満宮蔵
[通期展示、この場面は5月26日～31日展示]



国宝 北野天神縁起絵巻（承久本）
卷第6（部分） 京都・北野天満宮蔵
[通期展示、この場面は後期展示]

室町時代の北野社—神仏習合の風景

第3章 北野天満宮と芸能・文化

現在では受験合格祈願の神社として絶大な人気を誇る北野天満宮ですが、これは奥深い天神信仰の一侧面でしかありません。菅原道真は学問のみならず、和歌や芸能、戦勝祈願の神としても敬われ、北野の地は各時代において芸能と文化の一大発信拠点の役割を担ってきました。この章では北野天満宮に奉納された品々や、往時の賑わいを伝える名品を通じて、同宮が日本文化に与えた影響を紐解きます。

北野社で歌舞伎踊りを開始 出雲の阿国を描く名品

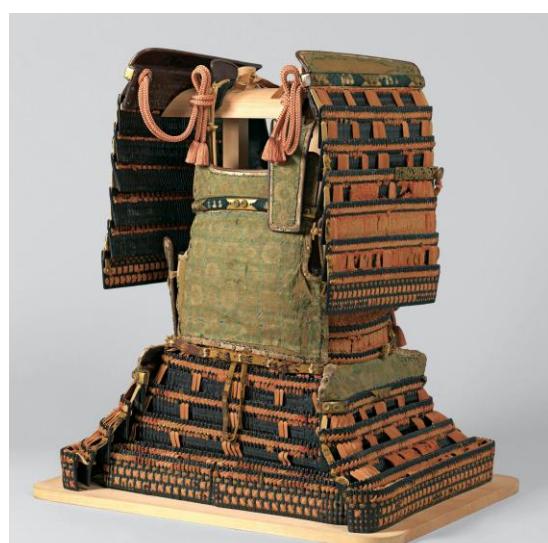


重要文化財 阿国歌舞伎図屏風 京都国立博物館蔵 [前期展示]

武神としての側面も！
奈良・興喜天満神社に奉納された大鎧



源氏の重宝 兄弟刀揃い踏み



重要文化財 赤糸威鎧 大袖付
奈良・長谷寺蔵 [前期展示]

日本文化発信の中心の地としての北野天満宮 豊臣家とのつながりも

北野天満宮では、豊臣秀吉が境内で北野大茶湯を催し、慶長年間には出雲阿国がややこ踊り（歌舞伎踊り）を演じるなど、文化発信の中心地として強く意識され、文化芸能の神社としても仰がれてきました。第3章では、《北野大茶湯図》や秀吉の息子・秀頼寄進の刀を展示するほか、《阿国歌舞伎図屏風》など芸能関連の品、また道真が登場する能で用いられる能面なども展示します。

左：重要文化財 太刀 国綱ト銘ガアル（鬼切丸・髭切）京都・北野天満宮蔵 [通期展示]
右：重要文化財 太刀 銘□忠（薄緑・膝丸）京都・大覚寺蔵 [通期展示]

開催概要

展覧会名：特別展「北野天神」

会 期：2026年4月18日（土）～6月14日（日）

主な展示替：前期：4月18日（土）～5月17日（日）

後期：5月19日（火）～6月14日（日）

※会期中、一部の作品は上記以外にも展示替または巻替を行います。

開館時間：午前9時～午後5時30分 ※金曜日は午後8時まで ※入館は各閉館の30分前まで

休 館 日：月曜日 ※ただし5月4日（月・祝）は開館

会 場：京都国立博物館 平成知新館 〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

<https://www.kyohaku.go.jp/>

主 催：京都国立博物館、北野天満宮、読売新聞社

特別協力：全国天満宮梅風会

一般問い合わせ：075-525-2473（テレホンサービス）

展覧会公式サイト：<https://kitano-tenjin2026.com>

展覧会公式X：@KitanoTenjin26

観 覧 料：

（税込）

	一般	大学生	高校生
当日	2,000円	1,400円	900円
前売・団体	1,800円	1,200円	700円

※前売券は2026年1月16日（金）午前10時から4月17日（金）午後11時59分まで

各種プレイガイド等で販売します。

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方とその介護者1名は無料です（要証明）。

※大学生・高校生の方は学生証をご提示ください。

※キャンパスメンバーズ（教職員を含む）は学生証または教職員証をご提示いただくと、各種当日料金より500円引きとなります

（当日南門チケット売場のみの販売、他の割引との併用はできません）。

主な販売場所：公式オンラインチケット、美術展ナビチケットアプリ、

ローソンチケット（Lコード：54564）、チケットぴあ（Pコード：995-799）、

セブンチケット（セブンコード：113-558）、CNプレイガイド、イープラスなど

※チケットの購入時に手数料がかかる場合があります。

【企画チケット】

京都国立博物館特集展示「縁を結ぶかたな」観覧券付き

刀剣乱舞ONLINE「髭切」&「膝丸」（2振デザイン）コラボチケット 一般のみ3,000円

2026年2月4日から3月22日に京都国立博物館で開催される特集展示「縁を結ぶかたな—国宝・重要文化財で学ぶ刀剣鑑賞—」観覧券と刀剣乱舞ONLINEの刀剣男士「髭切」「膝丸」2振デザインのコラボチケットがついてきます。コラボチケットの引き換えは特別展「北野天神」会期中、会場内特設ショップで行います。

※特集展示「縁を結ぶかたな—国宝・重要文化財で学ぶ刀剣鑑賞—」と刀剣乱舞ONLINEのコラボは実施しておりません。

その他の企画チケットなど詳細は、随時展覧会公式サイトでお知らせします。



記念講演会

「北野天神信仰からみる日本文化」

開催日：2026年4月25日（土）

講 師：橋 重十九（北野天満宮 宮司）、西山 剛（北野天満宮北野文化研究所 特別研究員）

「北野社ゆかりの絵画」

開催日：2026年5月9日（土）

講 師：森 道彦（京都国立博物館 主任研究員）

「広くて深い北野天神縁起絵巻の世界」

開催日：2026年5月23日（土）

講 師：井並 林太郎（京都国立博物館 主任研究員）

「武芸の神、道真」

開催日：2026年6月6日（土）

講 師：末兼 俊彦（京都国立博物館 主任研究員）

各回

時間：午後1時30分～午後3時

会場：京都国立博物館 平成知新館 講堂（地下1階）

定員：200名

料金：無料（ただし、本展覧会の観覧券が必要）。

申込：参加ご希望の方は京都国立博物館ウェブサイト（<https://www.kyohaku.go.jp/>）よりお申込みください。2026年3月24日（火）午前10時より受付開始（予定）。

展覧会広報大使＆音声ガイドナビゲーター

月城かなとさん（女優）

宝塚歌劇団在籍中、『応天の門』で菅原道真を演じた元宝塚歌劇団月組トップスターで女優の月城かなとさんが、特別展「北野天神」の魅力を紹介します。

〈プロフィール〉

1990年12月31日生まれ。元宝塚歌劇団月組トップスター。

2023年、「『応天の門』－若き日の菅原道真の事－」で菅原道真を演じる。

2024年7月に退団後は、コンサートやドラマ、声優など多岐にわたり活動。

主な出演作品はTBS系日曜劇場「キャスター」、フジテレビ系「終幕のロンド—もう二度と、会えないあなたに—」など。

〈月城かなとさんコメント〉

菅原道真を演じさせていただいてから2年、こうして再び道真公とのご縁があることに光栄な気持ちです。

広報大使、音声ガイドナビゲーターとして皆様と共に北野天神の魅力に触れることを楽しみにしています。



刀剣乱舞ONLINEとのコラボレーションが決定！

本展に、重要文化財《太刀 国綱ト銘ガアル（鬼切丸・髭切）》（京都・北野天満宮蔵）、重要文化財《太刀 銘□忠（薄緑・膝丸）》（京都・大覚寺蔵）が展示されることを記念し、「刀剣乱舞ONLINE」の刀剣男士「髭切」「膝丸」とのコラボが決定しました！

コラボチケットや限定グッズなど、詳細は随時展覧会公式サイト、および公式Xで発表します。



《報道関係者お問い合わせ先》

特別展「北野天神」広報事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場・永井・西坂

TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）

〒541-4406 大阪市中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 E-MAIL：kitanotenjin@tm-office.co.jp